



TOPREP Corporation

“出張”を持続的に最適管理する新たなアプローチ

いかなる企業にも求められる

「間接費」の最適化

企業の永遠のテーマであるコスト削減に関して、「取り組んだことがない」という企業を見つけるほうが難しい時代。

それでも以下の理由から、持続的に“間接費”の最適管理を実現している企業はそれほど多くないように見受けられます。

実現できない理由1

間接費は直接費と違い、自社の製品・サービスや企業活動と結びつきがなく、専門管理するのが困難なため

実現できない理由2

様々なサービスやツールが出回る現代において、自社にとっての最適デザインが何であるか見極めるのが難しいため

大幅なコスト削減の余地がある

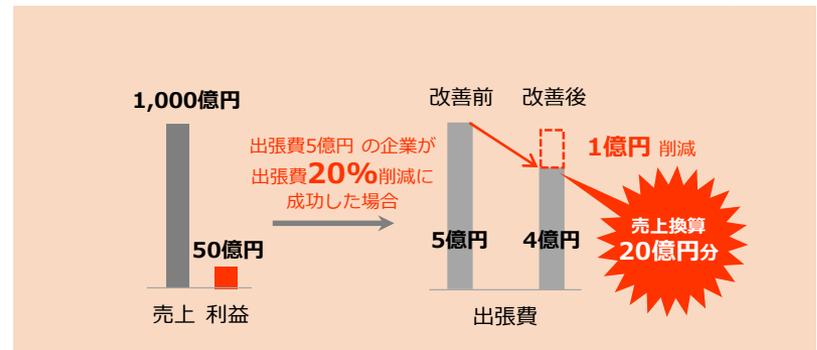
余地がある「出張費」

間接費の中でも1件あたりの金額が比較的多額になる傾向がある「出張費」は最適化によるコスト削減の余地が特に大きいといわれています。

しかし日本企業においては、出張を専門的に管理している人材が自社におらず、また出張を専門的にコンサルティングする機関もありません。そのため正確な現状把握や、分析のための仕組みを構築する事が難しく、コスト削減の機会を逃してしまっているケースが多く見られます。

コスト削減の課題意識が高い企業にとって、「出張費」は優先的に改革が求められる領域であるといえます。

出張費改革の可能性



出張管理のプロによる高度な可視化の実現と出張費改革の達成

企業の出張における目標を達成するためには、多くのタスクが存在します。コスト最適化はもちろんのこと、最適サプライヤの選定、購買データの可視化及び出張費透明性の確保、渡航リスク管理など、その種類は多種多様です。私たちは、企業のBTM構築のサポート実績からなるナレッジベースと、あらゆるビッグデータを融合し、企業の出張に関するタスクを一気通貫にサポート致します。

デジタル時代の今日、社員が個々のデバイスを活用することで、いつでもどこでも利便性高く出張手配を可能にするニーズが高まりつつあります。次なる時代のあるべき姿は「社員の利便性」と「内部統制」の両立です。既成の運用方法にとらわれず、自由な手配方法を取り入れながらも、企業にとって管理レベルの高い体制を図っていくことこそ、真の顧客満足度の向上につながると私たちは考えています。

トップレップの最適化デザイン



(※1) BTM・・・Business Travel Management の略。出張に関する管理業務を一元管理し最適なソリューションを用いて企業の課題解決策を提供するもの
(※2) BPR・・・Business Process Re-engineering の略。企業活動の目標（売上、収益率など）を達成するために、既存の業務の構造や業務フロー、ビジネスルールを抜本的に見直し、業務の流れ（ビジネスプロセス）を最適化する観点から再構築（リエンジニアリング）すること

